

## 諸 率 表

### < 建 物 関 係 >

- (1) 共通仮設費率
- (2) 諸経費率表
- (3) 木造建物標準耐用年数判定表
- (4) 非木造建物標準耐用年数判定表
- (5) 木造建物再築補償率表 (価値補正率  $\alpha=0$ )
- (6) 木造建物標準再築補償率表
- (7) 木造建物再築補償率表 (耐用年数満了後)
- (8) 非木造建物再築補償率表 (価値補正率  $\alpha=0$ )
- (9) 木造建物現価率表
- (10) 木造建物現価率表 (補正)
- (11) 非木造建物現価率表
- (12) 運用益損失額補償率表
- (13) 価値補正率基準表
- (14) 基礎コンクリート体積表
- (15) 建物移転工法別標準期間表



## (1) 共通仮設費率

木造建物…………… 3%とする。

非木造建物 …………… 次表の直接工事費に対応した率とする。

### 共通仮設費率表

直 接 工 事 費 ( 百 万 円 )	共 通 仮 設 費 率 ( % )	直 接 工 事 費 ( 百 万 円 )	共 通 仮 設 費 率 ( % )
10 以下	5.64	300 を超え 350 以下	6.13
10 を超え 12 "	5.67	350 " 400 "	6.15
12 " 14 "	5.69	400 " 500 "	6.19
14 " 16 "	5.71	500 " 600 "	6.21
16 " 18 "	5.72	600 " 700 "	6.23
18 " 20 "	5.74	700 " 800 "	6.25
20 " 22 "	5.75	800 " 900 "	6.27
22 " 24 "	5.76	900 " 1,000 "	6.29
24 " 26 "	5.77	1,000 " 1,500 "	6.35
26 " 28 "	5.78	1,500 " 2,000 "	6.39
28 " 30 "	5.79	2,000 " 2,500 "	6.42
30 " 35 "	5.81	2,500 " 3,000 "	6.45
35 " 40 "	5.83	3,000 " 4,000 "	6.49
40 " 45 "	5.85	4,000 を超えるもの	6.53
45 " 50 "	5.86		
50 " 55 "	5.87		
55 " 60 "	5.89		
60 " 70 "	5.91		
70 " 80 "	5.93		
80 " 90 "	5.94		
90 " 100 "	5.96		
100 " 120 "	5.98		
120 " 140 "	6.00		
140 " 160 "	6.02		
160 " 180 "	6.04		
180 " 200 "	6.05		
200 " 250 "	6.09		
250 " 300 "	6.11		

(2) 諸経费率表

A		B	
純工事費 (百万円)	諸経费率 (%)	注1に該当する 純工事費 (円)	注1による額 (円)
10 以下	34.5	—	—
10 を超え	12 "	10,454,545 以下	3,450,000
12 "	14 "	12,452,830 以下	3,960,000
14 "	16 "	14,454,545 以下	4,452,000
16 "	18 "	16,481,605 以下	4,928,000
18 "	20 "	18,431,506 以下	5,382,000
20 "	22 "	20,491,228 以下	5,840,000
22 "	24 "	22,473,118 以下	6,270,000
24 "	26 "	24,437,956 以下	6,696,000
26 "	28 "	26,483,271 以下	7,124,000
28 "	30 "	28,530,303 以下	7,532,000
30 "	35 "	31,058,823 以下	7,920,000
35 "	40 "	36,133,603 以下	8,925,000
40 "	45 "	41,166,666 以下	9,880,000
45 "	50 "	46,153,846 以下	10,800,000
50 "	55 "	51,315,789 以下	11,700,000
55 "	60 "	55,982,142 以下	12,540,000
60 "	70 "	62,511,627 以下	13,440,000
70 "	80 "	72,009,569 以下	15,050,000
80 "	90 "	82,364,532 以下	16,720,000
90 "	100 "	92,272,727 以下	18,270,000
100 "	120 "	104,761,904 以下	19,800,000
120 "	140 "	124,615,384 以下	22,680,000
140 "	160 "	144,772,727 以下	25,480,000
160 "	180 "	164,678,362 以下	28,160,000
180 "	200 "	184,311,377 以下	30,780,000
200 "	250 "	211,392,405 以下	33,400,000
250 "	300 "	261,589,403 以下	39,500,000
300 "	350 "	310,273,972 以下	45,300,000
350 "	400 "	362,411,347 以下	51,100,000
400 "	500 "	420,895,522 以下	56,400,000
500 を超えるもの	12.8	523,437,499 以下	67,000,000

- 注) 1. 本表の諸経费率によって算出された額が、それぞれの欄の前欄において算出される額の最高額に達しないときは、その最高額まで増額することができる。
2. 諸経费率は、一発注（建築及び解体）を単位として算定された純工事費と廃材運搬費の合計額に対応した率を適用するものとする。  
 なお、原則として建物と附帯工作物については別発注、木造建物と非木造建物については一発注として算定するものとする。
3. 住宅瑕疵担保履行法に基づく資力確保費用は諸経费率に含まれている。

### (3) 木造建物標準耐用年数判定表

等級	建物の程度区分	耐用年数	建物の構造	用途及び建物概要
1	応急住宅程度	20年	正規の資材や工法による度合いが少なく、使用目的に最小限対応しうる程度のもの。又は臨時に使用するために建てた建物。	物置、車庫、倉庫、野小屋、家畜小屋、工事現場等の建物、労務員宿舎、作業小屋、及びうわや、井戸うわや、通路うわや、薪小屋、下屋等で基礎の設置が行われている建物。
2	公営住宅程度	35年	都道府県又は市町村等が住宅困窮者用貸付住宅として建てた程度の建物で低廉な資材により大量に建築されたもの。	棟続きか又は一戸建平家住宅で、居室が2～3部屋程度の小住宅であり、便所、浴室、台所等、必要最小限の設備を備えた建物、及び上記1等級程度の建物のうち、上位程度にランク付けすることが適当であると考えられる建物。
3	住宅金融支援機構住宅程度	48年	住宅金融支援機構住宅工事仕様書によって建てた程度の建物。	主要資材の程度及び構造、仕口等の仕様を定めており、これらに適合する程度の建物、及び上記2等級程度のうち、上位程度にランク付けすることが適当であると考えられる建物。
4	上等の一般建築	60年	規模、内外装材、外観等が上記住宅金融支援機構住宅を上まわるもので、いわゆる注文住宅は、この区分によることができるものとする。	一般的な個人住宅のうち、住宅金融支援機構住宅よりも上位にあると考えられる建物及び住宅金融支援機構の住宅工事仕様書に示す諸材料を上まわるものであれば、この程度区分に従うことができる。
5	極上等の建築	70年	高級な住宅であるとともに、その一部に特殊な構造、様式等を用いたもの。	諸材料等の大きさが通常使用している程度を著しく超えるもの、又は、洋風建築、数寄屋建築、古来の民家建築等の様式を部分的に取り入れたものをいう。

(4) 非木造建物標準耐用年数判定表

建物の構造 建物の用途	鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨造 肉厚9mm以上主としてH型構造	れんが造・コンクリートブロック造・石造	鉄骨造 肉厚4mm超え9mm未満	鉄骨造 肉厚4mm以下 軽量鉄骨造
工場及び倉庫（塩素・塩酸・硝酸等の腐食性を有する液体又は気体を使用しているもの）	3等級 40年	3等級 40年	2等級 35年	2等級 35年	1等級 30年
工場及び倉庫（一般的なもの）・市場・その他これらに類するもの	8等級 65年	7等級 60年	6等級 55年	5等級 50年	4等級 45年
旅館・ホテル・百貨店・劇場・飲食店・その他これらに類するもの	10等級 80年	9等級 70年	8等級 65年	7等級 60年	5等級 50年
事務所・住宅・アパート・店舗・病院・学校・その他これらに類するもの	11等級 90年	10等級 80年	9等級 70年	7等級 60年	6等級 55年

注) 建物の用途が「工場及び倉庫（塩素・塩酸・硝酸等の腐食性を有する液体又は気体を使用しているもの）」と判断されるものであっても、腐食を防止するための措置が施されている等の場合で、「工場及び倉庫（一般的なもの）」と同等の耐用年数と判断することが妥当と認められる建物については、その耐用年数を適用するものとする。

(5)木造建物再築補償率表 価値補正率  $\alpha = 0$

年 利 率 : 0.8 %  
単 位 %

等級	建物の程度	経過年数																
		標準耐用年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
1	応急住宅程度	20年	96.6	93.1	89.5	85.9	82.3	78.5	74.8	70.9	67.0	63.1	59.0	55.0	50.8	46.6	42.3	38.0
2	公営住宅程度	35年	98.3	96.5	94.7	92.9	91.0	89.1	87.2	85.3	83.3	81.3	79.2	77.2	75.1	72.9	70.8	68.6
3	住宅金融支援機構住宅程度	48年	98.9	97.7	96.5	95.3	94.1	92.8	91.6	90.3	89.0	87.7	86.3	85.0	83.6	82.2	80.8	79.3
4	上等の一般建築	60年	99.2	98.3	97.5	96.6	95.7	94.8	93.9	93.0	92.0	91.0	90.1	89.1	88.1	87.1	86.0	85.0
5	極上等の建築	70年	99.3	98.7	98.0	97.3	96.6	95.9	95.2	94.4	93.7	92.9	92.1	91.4	90.6	89.8	88.9	88.1

等級\経過年数	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1	33.6	29.1	24.6	20.0															
2	66.3	64.1	61.8	59.4	57.1	54.7	52.2	49.7	47.2	44.7	42.1	39.5	36.8	34.1	31.4	28.6	25.8	22.9	20.0
3	77.9	76.4	74.9	73.3	71.8	70.2	68.6	67.0	65.3	63.6	61.9	60.2	58.5	56.7	54.9	53.1	51.2	49.3	47.4
4	83.9	82.8	81.7	80.6	79.5	78.3	77.2	76.0	74.8	73.6	72.3	71.1	69.8	68.5	67.2	65.9	64.5	63.1	61.8
5	87.3	86.4	85.5	84.7	83.8	82.8	81.9	81.0	80.0	79.1	78.1	77.1	76.1	75.1	74.0	73.0	71.9	70.8	69.7

等級\経過年数	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54
3	45.5	43.5	41.5	39.5	37.5	35.4	33.3	31.1	29.0	26.8	24.5	22.3	20.0						
4	60.4	58.9	57.5	56.0	54.5	53.0	51.5	49.9	48.4	46.8	45.1	43.5	41.8	40.1	38.4	36.7	34.9	33.2	31.4
5	68.6	67.5	66.3	65.2	64.0	62.8	61.6	60.4	59.1	57.9	56.6	55.3	54.0	52.6	51.3	49.9	48.5	47.1	45.7

等級\経過年数	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
4	29.5	27.7	25.8	23.9	22.0	20.0										
5	44.2	42.8	41.3	39.8	38.2	36.7	35.1	33.5	31.9	30.3	28.6	26.9	25.2	23.5	21.8	20.0

注) 本表は、価値補正を考慮していない再築補償率表 ( $\alpha=0$ ) である。  
標準的な補修を施していると判断できる建物については「木造建物標準再築補償率表」を使用する。

※本注意書き下段の掲載は各地区判断とする。  
※0年スタートの掲載については各地区判断とする。(再築補償率、現価率表について同様の扱い)

(6) 木造建物標準再築補償率表

年利率 : 0.8%  
単位%

等級	建物の程度	標準耐用年数	経過年数		経過年数													
			適用範囲		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	応急住宅程度	20年	24年		96.6	93.1	89.5	85.9	82.3	78.5	74.8	70.9	67.0	64.8	62.6	60.4	58.2	55.9
2	公営住宅程度	35年	42年		98.3	96.5	94.7	92.9	91.0	89.1	87.2	85.3	83.3	81.3	79.2	77.2	75.1	72.9
3	住宅金融支援機構住宅程度	48年	58年		98.9	97.7	96.5	95.3	94.1	92.8	91.6	90.3	89.0	87.7	86.3	85.0	83.6	82.2
4	上等の一般建築	60年	72年		99.2	98.3	97.5	96.6	95.7	94.8	93.9	93.0	92.0	91.0	90.1	89.1	88.1	87.1
5	極上等の建築	70年	84年		99.3	98.7	98.0	97.3	96.6	95.9	95.2	94.4	93.7	92.9	92.1	91.4	90.6	89.8

等級\経過年数	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1	53.6	51.3	49.0	46.7	44.3	41.9	39.8	37.7	35.6	33.6									
2	70.8	68.6	66.3	65.1	64.0	62.7	61.5	60.3	59.0	57.8	56.5	55.3	54.0	52.7	51.4	50.0	48.7	47.4	46.0
3	80.8	79.3	77.9	76.4	74.9	73.3	71.8	70.2	68.6	67.7	66.8	66.0	65.1	64.2	63.3	62.3	61.4	60.5	59.6
4	86.0	85.0	83.9	82.8	81.7	80.6	79.5	78.3	77.2	76.0	74.8	73.6	72.3	71.1	69.8	69.1	68.4	67.7	67.0
5	88.9	88.1	87.3	86.4	85.5	84.7	83.8	82.8	81.9	81.0	80.0	79.1	78.1	77.1	76.1	75.1	74.0	73.0	71.9

等級\経過年数	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
2	44.6	43.3	42.1	40.9	39.7	38.6	37.4	36.3	35.1										
3	58.6	57.6	56.7	55.7	54.7	53.7	52.7	51.7	50.7	49.7	48.6	47.6	46.6	45.5	44.4	43.6	42.8	42.1	41.3
4	66.3	65.6	64.9	64.1	63.4	62.6	61.9	61.1	60.4	59.6	58.8	58.0	57.3	56.5	55.7	54.8	54.0	53.2	52.4
5	70.8	70.2	69.7	69.1	68.5	67.9	67.2	66.6	66.0	65.4	64.7	64.1	63.5	62.8	62.2	61.5	60.8	60.2	59.5

等級\経過年数	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71
3	40.6	39.9	39.1	38.4	37.7	37.0													
4	51.5	50.7	49.8	49.0	48.1	47.2	46.4	45.5	44.8	44.1	43.5	42.8	42.2	41.5	40.9	40.2	39.6	38.9	38.3
5	58.8	58.1	57.4	56.7	56.0	55.3	54.6	53.9	53.2	52.4	51.7	50.9	50.2	49.4	48.7	47.9	47.1	46.3	45.8

等級\経過年数	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84
4	37.7												
5	45.2	44.6	44.1	43.5	43.0	42.4	41.9	41.3	40.8	40.3	39.7	39.2	38.7

注) 経過年数に1年未満の端数がある場合には、それが6ヶ月未満の場合は切り捨てとし、6ヶ月以上の場合は1年とする。(例: 4月建築の場合は、9月30日までが切り捨て、10月1日からが1年)



(7) 木造建物再築補償率表(耐用年数満了後)

標準耐用年数：20年

n：経過年数 N'：残耐用年数(N' - n) N'：実態的耐用年数

n \ N'	0	1	2	3	4	5	6	7
21	20.0	24.2	28.1	31.7	34.9	37.9	40.7	43.3
22	20.0	24.1	27.8	31.3	34.4	37.4	40.1	42.6
23	20.0	23.9	27.6	30.9	34.0	36.9	39.5	42.0
24	20.0	23.8	27.3	30.6	33.6	36.4	39.0	41.4
25	20.0	23.7	27.1	30.3	33.2	33.6	33.6	33.6
26	20.0	23.6	26.9	30.0	32.8	33.6	33.6	33.6
27	20.0	23.5	26.7	29.7	32.5	33.6	33.6	33.6
28	20.0	23.4	26.5	29.4	32.2	33.6	33.6	33.6
29	20.0	23.3	26.3	29.2	31.9	33.6	33.6	33.6
30	20.0	23.2	26.2	29.0	31.6	33.6	33.6	33.6
31	20.0	23.1	26.0	28.8	31.4	33.6	33.6	33.6
32	20.0	23.0	25.9	28.6	31.1	33.5	33.6	33.6
33	20.0	23.0	25.8	28.4	30.9	33.2	33.6	33.6
34	20.0	22.9	25.6	28.2	30.7	33.0	33.6	33.6
35	20.0	22.8	25.5	28.1	30.5	32.7	33.6	33.6
36	20.0	22.8	25.4	27.9	30.3	32.5	33.6	33.6
37	20.0	22.7	25.3	27.7	30.1	32.3	33.6	33.6
38	20.0	22.7	25.2	27.6	29.9	32.1	33.6	33.6
39	20.0	22.6	25.1	27.5	29.7	31.9	33.6	33.6
40	20.0	22.6	25.0	27.3	29.6	31.7	33.6	33.6
41	20.0	22.5	24.9	27.2	29.4	31.5	33.5	33.6
42	20.0	22.5	24.8	27.1	29.2	31.3	33.3	33.6
43	20.0	22.4	24.8	27.0	29.1	31.1	33.1	33.6
44	20.0	22.4	24.7	26.9	29.0	31.0	32.9	33.6

注) 1. 本表は、経過年数が標準耐用年数を超過している建物について、一級建築士等の意見を聴取し又はその他適切な方法によりその建物のもつ実態的耐用年数を定め、再築補償率を求める場合に適用する。

なお、本表における経過年数21年から24年までの期間の再築補償率は、ほとんど補修を施していない建物及び特別大規模な補修が施されている建物で、標準再築補償率を適用することが適当でない建物に適用する。

2. ほとんど補修を施していない建物については、該当する経過年数に応じた標準再築補償率を上限とする。

3. 経過年数25年以降の再築補償率の上限は、 33.6 %

標準耐用年数：35年

n：経過年数 N'：残耐用年数(N' - n) N'：実態的耐用年数

$\begin{matrix} N' \\ n \end{matrix}$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
36	20.0	22.8	25.4	27.9	30.3	32.5	34.6	36.7	38.6	40.4	42.2
37	20.0	22.7	25.3	27.7	30.1	32.3	34.4	36.4	38.3	40.1	41.8
38	20.0	22.7	25.2	27.6	29.9	32.1	34.1	36.1	38.0	39.8	41.5
39	20.0	22.6	25.1	27.5	29.7	31.9	33.9	35.9	37.7	39.5	41.2
40	20.0	22.6	25.0	27.3	29.6	31.7	33.7	35.6	37.5	39.2	40.9
41	20.0	22.5	24.9	27.2	29.4	31.5	33.5	35.4	37.2	38.9	40.6
42	20.0	22.5	24.8	27.1	29.2	31.3	33.3	35.1	37.0	38.7	40.3
43	20.0	22.4	24.8	27.0	29.1	31.1	33.1	34.9	35.1	35.1	35.1
44	20.0	22.4	24.7	26.9	29.0	31.0	32.9	34.7	35.1	35.1	35.1
45	20.0	22.4	24.6	26.8	28.8	30.8	32.7	34.5	35.1	35.1	35.1
46	20.0	22.3	24.5	26.7	28.7	30.7	32.5	34.3	35.1	35.1	35.1
47	20.0	22.3	24.5	26.6	28.6	30.5	32.4	34.1	35.1	35.1	35.1
48	20.0	22.3	24.4	26.5	28.5	30.4	32.2	34.0	35.1	35.1	35.1
49	20.0	22.2	24.4	26.4	28.4	30.2	32.1	33.8	35.1	35.1	35.1
50	20.0	22.2	24.3	26.3	28.2	30.1	31.9	33.6	35.1	35.1	35.1
51	20.0	22.2	24.2	26.2	28.1	30.0	31.8	33.5	35.1	35.1	35.1
52	20.0	22.1	24.2	26.2	28.0	29.9	31.6	33.3	34.9	35.1	35.1
53	20.0	22.1	24.1	26.1	27.9	29.8	31.5	33.2	34.8	35.1	35.1
54	20.0	22.1	24.1	26.0	27.9	29.6	31.4	33.0	34.6	35.1	35.1
55	20.0	22.1	24.0	25.9	27.8	29.5	31.2	32.9	34.5	35.1	35.1
56	20.0	22.0	24.0	25.9	27.7	29.4	31.1	32.7	34.3	35.1	35.1
57	20.0	22.0	23.9	25.8	27.6	29.3	31.0	32.6	34.2	35.1	35.1
58	20.0	22.0	23.9	25.7	27.5	29.2	30.9	32.5	34.0	35.1	35.1
59	20.0	22.0	23.8	25.7	27.4	29.1	30.8	32.4	33.9	35.1	35.1
60	20.0	21.9	23.8	25.6	27.4	29.0	30.7	32.2	33.8	35.1	35.1
61	20.0	21.9	23.8	25.6	27.3	28.9	30.6	32.1	33.6	35.1	35.1
62	20.0	21.9	23.7	25.5	27.2	28.9	30.5	32.0	33.5	35.0	35.1

注) 1. 本表は、経過年数が標準耐用年数を超過している建物について、一級建築士等の意見を聴取し又はその他適切な方法によりその建物のもつ実態的耐用年数を定め、再築補償率を求める場合に適用する。

なお、本表における経過年数36年から42年までの期間の再築補償率は、ほとんど補修を施していない建物及び特別大規模な補修が施されている建物で、標準再築補償率を適用することが適当でない建物に適用する。

2. ほとんど補修を施していない建物については、該当する経過年数に応じた標準再築補償率を上限とする。

3. 経過年数43年以降の再築補償率の上限は、 35.1 %

標準耐用年数：48年

n：経過年数 N'：残耐用年数(N' - n) N'：実態的耐用年数

n \ N'	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
49	20.0	22.2	24.4	26.4	28.4	30.2	32.1	33.8	35.5	37.1	38.6	40.1	41.6	43.0	44.3
50	20.0	22.2	24.3	26.3	28.2	30.1	31.9	33.6	35.3	36.9	38.4	39.9	41.4	42.8	44.1
51	20.0	22.2	24.2	26.2	28.1	30.0	31.8	33.5	35.1	36.7	38.2	39.7	41.1	42.5	43.9
52	20.0	22.1	24.2	26.2	28.0	29.9	31.6	33.3	34.9	36.5	38.0	39.5	40.9	42.3	43.6
53	20.0	22.1	24.1	26.1	27.9	29.8	31.5	33.2	34.8	36.3	37.9	39.3	40.7	42.1	43.4
54	20.0	22.1	24.1	26.0	27.9	29.6	31.4	33.0	34.6	36.2	37.7	39.1	40.5	41.9	43.2
55	20.0	22.1	24.0	25.9	27.8	29.5	31.2	32.9	34.5	36.0	37.5	38.9	40.3	41.7	43.0
56	20.0	22.0	24.0	25.9	27.7	29.4	31.1	32.7	34.3	35.8	37.3	38.7	40.1	41.5	42.8
57	20.0	22.0	23.9	25.8	27.6	29.3	31.0	32.6	34.2	35.7	37.2	38.6	39.9	41.3	42.6
58	20.0	22.0	23.9	25.7	27.5	29.2	30.9	32.5	34.0	35.5	37.0	38.4	39.8	41.1	42.4
59	20.0	22.0	23.8	25.7	27.4	29.1	30.8	32.4	33.9	35.4	36.8	37.0	37.0	37.0	37.0
60	20.0	21.9	23.8	25.6	27.4	29.0	30.7	32.2	33.8	35.2	36.7	37.0	37.0	37.0	37.0
61	20.0	21.9	23.8	25.6	27.3	28.9	30.6	32.1	33.6	35.1	36.5	37.0	37.0	37.0	37.0
62	20.0	21.9	23.7	25.5	27.2	28.9	30.5	32.0	33.5	35.0	36.4	37.0	37.0	37.0	37.0
63	20.0	21.9	23.7	25.4	27.1	28.8	30.4	31.9	33.4	34.8	36.2	37.0	37.0	37.0	37.0
64	20.0	21.9	23.7	25.4	27.1	28.7	30.3	31.8	33.3	34.7	36.1	37.0	37.0	37.0	37.0
65	20.0	21.8	23.6	25.3	27.0	28.6	30.2	31.7	33.2	34.6	36.0	37.0	37.0	37.0	37.0
66	20.0	21.8	23.6	25.3	26.9	28.5	30.1	31.6	33.1	34.5	35.8	37.0	37.0	37.0	37.0
67	20.0	21.8	23.5	25.2	26.9	28.5	30.0	31.5	32.9	34.4	35.7	37.0	37.0	37.0	37.0
68	20.0	21.8	23.5	25.2	26.8	28.4	29.9	31.4	32.8	34.2	35.6	36.9	37.0	37.0	37.0
69	20.0	21.8	23.5	25.1	26.8	28.3	29.8	31.3	32.7	34.1	35.5	36.8	37.0	37.0	37.0
70	20.0	21.8	23.5	25.1	26.7	28.2	29.8	31.2	32.6	34.0	35.4	36.7	37.0	37.0	37.0
71	20.0	21.7	23.4	25.1	26.6	28.2	29.7	31.1	32.5	33.9	35.2	36.5	37.0	37.0	37.0
72	20.0	21.7	23.4	25.0	26.6	28.1	29.6	31.0	32.4	33.8	35.1	36.4	37.0	37.0	37.0
73	20.0	21.7	23.4	25.0	26.5	28.1	29.5	31.0	32.4	33.7	35.0	36.3	37.0	37.0	37.0
74	20.0	21.7	23.3	24.9	26.5	28.0	29.5	30.9	32.3	33.6	34.9	36.2	37.0	37.0	37.0
75	20.0	21.7	23.3	24.9	26.4	27.9	29.4	30.8	32.2	33.5	34.8	36.1	37.0	37.0	37.0
76	20.0	21.7	23.3	24.9	26.4	27.9	29.3	30.7	32.1	33.4	34.7	36.0	37.0	37.0	37.0
77	20.0	21.7	23.3	24.8	26.3	27.8	29.2	30.6	32.0	33.3	34.6	35.9	37.0	37.0	37.0
78	20.0	21.6	23.2	24.8	26.3	27.8	29.2	30.6	31.9	33.2	34.5	35.8	37.0	37.0	37.0

注) 1. 本表は、経過年数が標準耐用年数を超えている建物について、一級建築士等の意見を聴取し、又はその他適切な方法によりその建物のもつ実態的耐用年数を定め、再築補償率を求める場合に適用する。

なお、本表における経過年数49年から58年までの期間の再築補償率は、ほとんど補修を施していない建物及び特別大規模な補修が施されている建物で、標準再築補償率を適用することが適当でない建物に適用する。

2. ほとんど補修を施していない建物については、該当する経過年数に応じた標準再築補償率を上限とする。

3. 経過年数59年以降の再築補償率の上限は、 37 %

標準耐用年数：60年

n：経過年数 N'：残耐用年数(N' - n) N'：実態的耐用年数

n \ N'	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
61	20.0	21.9	23.8	25.6	27.3	28.9	30.6	32.1	33.6	35.1	36.5	37.9	39.2	40.5	41.8	43.0	44.2
62	20.0	21.9	23.7	25.5	27.2	28.9	30.5	32.0	33.5	35.0	36.4	37.8	39.1	40.4	41.6	42.8	44.0
63	20.0	21.9	23.7	25.4	27.1	28.8	30.4	31.9	33.4	34.8	36.2	37.6	38.9	40.2	41.5	42.7	43.8
64	20.0	21.9	23.7	25.4	27.1	28.7	30.3	31.8	33.3	34.7	36.1	37.5	38.8	40.0	41.3	42.5	43.7
65	20.0	21.8	23.6	25.3	27.0	28.6	30.2	31.7	33.2	34.6	36.0	37.3	38.6	39.9	41.1	42.3	43.5
66	20.0	21.8	23.6	25.3	26.9	28.5	30.1	31.6	33.1	34.5	35.8	37.2	38.5	39.7	41.0	42.2	43.3
67	20.0	21.8	23.5	25.2	26.9	28.5	30.0	31.5	32.9	34.4	35.7	37.0	38.3	39.6	40.8	42.0	43.2
68	20.0	21.8	23.5	25.2	26.8	28.4	29.9	31.4	32.8	34.2	35.6	36.9	38.2	39.4	40.7	41.8	43.0
69	20.0	21.8	23.5	25.1	26.8	28.3	29.8	31.3	32.7	34.1	35.5	36.8	38.1	39.3	40.5	41.7	42.8
70	20.0	21.8	23.5	25.1	26.7	28.2	29.8	31.2	32.6	34.0	35.4	36.7	37.9	39.2	40.4	41.5	42.7
71	20.0	21.7	23.4	25.1	26.6	28.2	29.7	31.1	32.5	33.9	35.2	36.5	37.8	39.0	40.2	41.4	42.5
72	20.0	21.7	23.4	25.0	26.6	28.1	29.6	31.0	32.4	33.8	35.1	36.4	37.7	38.9	40.1	41.3	42.4
73	20.0	21.7	23.4	25.0	26.5	28.1	29.5	31.0	32.4	33.7	35.0	36.3	37.6	37.7	37.7	37.7	37.7
74	20.0	21.7	23.3	24.9	26.5	28.0	29.5	30.9	32.3	33.6	34.9	36.2	37.4	37.7	37.7	37.7	37.7
75	20.0	21.7	23.3	24.9	26.4	27.9	29.4	30.8	32.2	33.5	34.8	36.1	37.3	37.7	37.7	37.7	37.7
76	20.0	21.7	23.3	24.9	26.4	27.9	29.3	30.7	32.1	33.4	34.7	36.0	37.2	37.7	37.7	37.7	37.7
77	20.0	21.7	23.3	24.8	26.3	27.8	29.2	30.6	32.0	33.3	34.6	35.9	37.1	37.7	37.7	37.7	37.7
78	20.0	21.6	23.2	24.8	26.3	27.8	29.2	30.6	31.9	33.2	34.5	35.8	37.0	37.7	37.7	37.7	37.7
79	20.0	21.6	23.2	24.7	26.2	27.7	29.1	30.5	31.8	33.2	34.4	35.7	36.9	37.7	37.7	37.7	37.7
80	20.0	21.6	23.2	24.7	26.2	27.6	29.1	30.4	31.8	33.1	34.3	35.6	36.8	37.7	37.7	37.7	37.7
81	20.0	21.6	23.2	24.7	26.2	27.6	29.0	30.4	31.7	33.0	34.2	35.5	36.7	37.7	37.7	37.7	37.7
82	20.0	21.6	23.1	24.6	26.1	27.5	28.9	30.3	31.6	32.9	34.2	35.4	36.6	37.7	37.7	37.7	37.7
83	20.0	21.6	23.1	24.6	26.1	27.5	28.9	30.2	31.5	32.8	34.1	35.3	36.5	37.6	37.7	37.7	37.7
84	20.0	21.6	23.1	24.6	26.0	27.4	28.8	30.2	31.5	32.7	34.0	35.2	36.4	37.5	37.7	37.7	37.7
85	20.0	21.6	23.1	24.6	26.0	27.4	28.8	30.1	31.4	32.7	33.9	35.1	36.3	37.4	37.7	37.7	37.7
86	20.0	21.5	23.1	24.5	26.0	27.3	28.7	30.0	31.3	32.6	33.8	35.0	36.2	37.3	37.7	37.7	37.7
87	20.0	21.5	23.0	24.5	25.9	27.3	28.7	30.0	31.3	32.5	33.7	34.9	36.1	37.2	37.7	37.7	37.7
88	20.0	21.5	23.0	24.5	25.9	27.3	28.6	29.9	31.2	32.4	33.7	34.9	36.0	37.2	37.7	37.7	37.7
89	20.0	21.5	23.0	24.4	25.8	27.2	28.6	29.9	31.1	32.4	33.6	34.8	35.9	37.1	37.7	37.7	37.7
90	20.0	21.5	23.0	24.4	25.8	27.2	28.5	29.8	31.1	32.3	33.5	34.7	35.8	37.0	37.7	37.7	37.7
91	20.0	21.5	23.0	24.4	25.8	27.1	28.5	29.7	31.0	32.2	33.4	34.6	35.8	36.9	37.7	37.7	37.7
92	20.0	21.5	22.9	24.4	25.7	27.1	28.4	29.7	30.9	32.2	33.4	34.5	35.7	36.8	37.7	37.7	37.7

注) 1. 本表は、経過年数が標準耐用年数を超えている建物について、一級建築士等の意見を聴取し、又はその他適切な方法によりその建物のもつ実態的耐用年数を定め、再築補償率を求める場合に適用する。

なお、本表における経過年数61年から72年までの期間の再築補償率は、ほとんど補修を施していない建物及び特別大規模な補修が施されている建物で、標準再築補償率を適用することが適当でない建物に適用する。

2. ほとんど補修を施していない建物については、該当する経過年数に応じた標準再築補償率を上限とする。

3. 経過年数73年以降の再築補償率の上限は、 37.7 %

標準耐用年数：70年

n：経過年数 N'：残耐用年数(N' - n) N：実態的耐用年数

n \ N'	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
71	20.0	21.7	23.4	25.1	26.6	28.2	29.7	31.1	32.5	33.9	35.2	36.5	37.8	39.0	40.2	41.4	42.5	43.6
72	20.0	21.7	23.4	25.0	26.6	28.1	29.6	31.0	32.4	33.8	35.1	36.4	37.7	38.9	40.1	41.3	42.4	43.5
73	20.0	21.7	23.4	25.0	26.5	28.1	29.5	31.0	32.4	33.7	35.0	36.3	37.6	38.8	40.0	41.1	42.2	43.3
74	20.0	21.7	23.3	24.9	26.5	28.0	29.5	30.9	32.3	33.6	34.9	36.2	37.4	38.6	39.8	41.0	42.1	43.2
75	20.0	21.7	23.3	24.9	26.4	27.9	29.4	30.8	32.2	33.5	34.8	36.1	37.3	38.5	39.7	40.8	42.0	43.0
76	20.0	21.7	23.3	24.9	26.4	27.9	29.3	30.7	32.1	33.4	34.7	36.0	37.2	38.4	39.6	40.7	41.8	42.9
77	20.0	21.7	23.3	24.8	26.3	27.8	29.2	30.6	32.0	33.3	34.6	35.9	37.1	38.3	39.5	40.6	41.7	42.8
78	20.0	21.6	23.2	24.8	26.3	27.8	29.2	30.6	31.9	33.2	34.5	35.8	37.0	38.2	39.3	40.5	41.6	42.6
79	20.0	21.6	23.2	24.7	26.2	27.7	29.1	30.5	31.8	33.2	34.4	35.7	36.9	38.1	39.2	40.3	41.4	42.5
80	20.0	21.6	23.2	24.7	26.2	27.6	29.1	30.4	31.8	33.1	34.3	35.6	36.8	38.0	39.1	40.2	41.3	42.4
81	20.0	21.6	23.2	24.7	26.2	27.6	29.0	30.4	31.7	33.0	34.2	35.5	36.7	37.8	39.0	40.1	41.2	42.3
82	20.0	21.6	23.1	24.6	26.1	27.5	28.9	30.3	31.6	32.9	34.2	35.4	36.6	37.7	38.9	40.0	41.1	42.1
83	20.0	21.6	23.1	24.6	26.1	27.5	28.9	30.2	31.5	32.8	34.1	35.3	36.5	37.6	38.8	39.9	41.0	42.0
84	20.0	21.6	23.1	24.6	26.0	27.4	28.8	30.2	31.5	32.7	34.0	35.2	36.4	37.5	38.7	39.8	40.8	41.9
85	20.0	21.6	23.1	24.6	26.0	27.4	28.8	30.1	31.4	32.7	33.9	35.1	36.3	37.4	38.6	38.7	38.7	38.7
86	20.0	21.5	23.1	24.5	26.0	27.3	28.7	30.0	31.3	32.6	33.8	35.0	36.2	37.3	38.5	38.7	38.7	38.7
87	20.0	21.5	23.0	24.5	25.9	27.3	28.7	30.0	31.3	32.5	33.7	34.9	36.1	37.2	38.4	38.7	38.7	38.7
88	20.0	21.5	23.0	24.5	25.9	27.3	28.6	29.9	31.2	32.4	33.7	34.9	36.0	37.2	38.3	38.7	38.7	38.7
89	20.0	21.5	23.0	24.4	25.8	27.2	28.6	29.9	31.1	32.4	33.6	34.8	35.9	37.1	38.2	38.7	38.7	38.7
90	20.0	21.5	23.0	24.4	25.8	27.2	28.5	29.8	31.1	32.3	33.5	34.7	35.8	37.0	38.1	38.7	38.7	38.7
91	20.0	21.5	23.0	24.4	25.8	27.1	28.5	29.7	31.0	32.2	33.4	34.6	35.8	36.9	38.0	38.7	38.7	38.7
92	20.0	21.5	22.9	24.4	25.7	27.1	28.4	29.7	30.9	32.2	33.4	34.5	35.7	36.8	37.9	38.7	38.7	38.7
93	20.0	21.5	22.9	24.3	25.7	27.0	28.4	29.6	30.9	32.1	33.3	34.5	35.6	36.7	37.8	38.7	38.7	38.7
94	20.0	21.5	22.9	24.3	25.7	27.0	28.3	29.6	30.8	32.0	33.2	34.4	35.5	36.6	37.7	38.7	38.7	38.7
95	20.0	21.5	22.9	24.3	25.6	27.0	28.3	29.5	30.8	32.0	33.2	34.3	35.4	36.6	37.6	38.7	38.7	38.7
96	20.0	21.5	22.9	24.3	25.6	26.9	28.2	29.5	30.7	31.9	33.1	34.2	35.4	36.5	37.6	38.6	38.7	38.7
97	20.0	21.4	22.9	24.2	25.6	26.9	28.2	29.4	30.7	31.9	33.0	34.2	35.3	36.4	37.5	38.5	38.7	38.7
98	20.0	21.4	22.8	24.2	25.5	26.9	28.1	29.4	30.6	31.8	33.0	34.1	35.2	36.3	37.4	38.4	38.7	38.7
99	20.0	21.4	22.8	24.2	25.5	26.8	28.1	29.3	30.6	31.7	32.9	34.0	35.2	36.2	37.3	38.4	38.7	38.7
100	20.0	21.4	22.8	24.2	25.5	26.8	28.1	29.3	30.5	31.7	32.8	34.0	35.1	36.2	37.2	38.3	38.7	38.7
101	20.0	21.4	22.8	24.1	25.5	26.8	28.0	29.2	30.4	31.6	32.8	33.9	35.0	36.1	37.2	38.2	38.7	38.7
102	20.0	21.4	22.8	24.1	25.4	26.7	28.0	29.2	30.4	31.6	32.7	33.8	34.9	36.0	37.1	38.1	38.7	38.7
103	20.0	21.4	22.8	24.1	25.4	26.7	27.9	29.2	30.4	31.5	32.7	33.8	34.9	36.0	37.0	38.0	38.7	38.7
104	20.0	21.4	22.8	24.1	25.4	26.7	27.9	29.1	30.3	31.5	32.6	33.7	34.8	35.9	36.9	38.0	38.7	38.7

注) 1. 本表は、経過年数が標準耐用年数を超えている建物について、一級建築士等の意見を聴取し、又はその他適切な方法によりその建物のもつ実態的耐用年数を定め、再築補償率を求める場合に適用する。

なお、本表における経過年数71年から84年までの期間の再築補償率は、ほとんど補修を施していない建物及び特別大規模な補修が施されている建物で、標準再築補償率を適用することが適当でない建物に適用する。

2. ほとんど補修を施していない建物については、該当する経過年数に応じた標準再築補償率を上限とする。

3. 経過年数85年以降の再築補償率の上限は、 38.7 %

(8) 非木造建物再築補償率表 価値補正率  $\alpha = 0$   
 年利率 : 0.8%

単位%

等級	標準耐用年数\経過年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1	30年	97.9	95.7	93.5	91.3	89.1	86.8	84.5	82.1	79.7	77.3	74.8	72.3	69.7	67.1	64.5	61.8	59.1	56.4	53.6
2	35年	98.3	96.5	94.7	92.9	91.0	89.1	87.2	85.3	83.3	81.3	79.2	77.2	75.1	72.9	70.8	68.6	66.3	64.1	61.8
3	40年	98.5	97.0	95.5	94.0	92.4	90.8	89.2	87.6	85.9	84.3	82.5	80.8	79.0	77.2	75.4	73.6	71.7	69.8	67.9
4	45年	98.7	97.5	96.2	94.9	93.5	92.2	90.8	89.4	88.0	86.5	85.1	83.6	82.1	80.6	79.0	77.4	75.8	74.2	72.5
5	50年	98.9	97.8	96.7	95.6	94.4	93.2	92.0	90.8	89.6	88.4	87.1	85.8	84.5	83.2	81.8	80.5	79.1	77.7	76.3
6	55年	99.1	98.1	97.1	96.1	95.1	94.1	93.1	92.0	90.9	89.8	88.7	87.6	86.5	85.3	84.1	82.9	81.7	80.5	79.3
7	60年	99.2	98.3	97.5	96.6	95.7	94.8	93.9	93.0	92.0	91.0	90.1	89.1	88.1	87.1	86.0	85.0	83.9	82.8	81.7
8	65年	99.3	98.5	97.7	97.0	96.2	95.4	94.6	93.7	92.9	92.1	91.2	90.3	89.4	88.5	87.6	86.7	85.7	84.8	83.8
9	70年	99.3	98.7	98.0	97.3	96.6	95.9	95.2	94.4	93.7	92.9	92.1	91.4	90.6	89.8	88.9	88.1	87.3	86.4	85.5
10	80年	99.5	98.9	98.4	97.8	97.2	96.7	96.1	95.5	94.9	94.3	93.7	93.0	92.4	91.7	91.1	90.4	89.7	89.0	88.3
11	90年	99.6	99.1	98.7	98.2	97.7	97.3	96.8	96.3	95.8	95.3	94.8	94.3	93.7	93.2	92.7	92.1	91.6	91.0	90.4

等級	標準耐用年数\経過年数	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
1	30年	50.8	47.9	45.0	42.0	39.0	35.9	32.8	29.7	26.5	23.3	20.0								
2	35年	59.4	57.1	54.7	52.2	49.7	47.2	44.7	42.1	39.5	36.8	34.1	31.4	28.6	25.8	22.9	20.0			
3	40年	65.9	63.9	61.9	59.8	57.7	55.6	53.5	51.3	49.1	46.9	44.6	42.3	40.0	37.6	35.2	32.7	30.3	27.7	25.2
4	45年	70.9	69.2	67.4	65.7	63.9	62.1	60.3	58.4	56.5	54.6	52.7	50.7	48.7	46.7	44.6	42.5	40.4	38.3	36.1
5	50年	74.8	73.3	71.8	70.3	68.8	67.2	65.6	64.0	62.4	60.7	59.1	57.4	55.6	53.9	52.1	50.3	48.5	46.6	44.7
6	55年	78.0	76.7	75.4	74.1	72.7	71.4	70.0	68.6	67.2	65.7	64.2	62.8	61.2	59.7	58.2	56.6	55.0	53.4	51.7
7	60年	80.6	79.5	78.3	77.2	76.0	74.8	73.6	72.3	71.1	69.8	68.5	67.2	65.9	64.5	63.1	61.8	60.4	58.9	57.5
8	65年	82.8	81.8	80.8	79.7	78.7	77.6	76.5	75.5	74.3	73.2	72.1	70.9	69.7	68.5	67.3	66.1	64.8	63.6	62.3
9	70年	84.7	83.8	82.8	81.9	81.0	80.0	79.1	78.1	77.1	76.1	75.1	74.0	73.0	71.9	70.8	69.7	68.6	67.5	66.3
10	80年	87.6	86.9	86.1	85.4	84.6	83.9	83.1	82.3	81.5	80.7	79.9	79.0	78.2	77.3	76.4	75.5	74.6	73.7	72.8
11	90年	89.8	89.2	88.6	88.0	87.4	86.8	86.1	85.5	84.8	84.1	83.5	82.8	82.1	81.4	80.7	79.9	79.2	78.4	77.7

等級	標準耐用年数\経過年数	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57
3	40年	22.6	20.0																	
4	45年	33.9	31.7	29.4	27.1	24.8	22.4	20.0												
5	50年	42.8	40.9	38.9	37.0	34.9	32.9	30.8	28.7	26.6	24.4	22.2	20.0							
6	55年	50.1	48.4	46.7	44.9	43.2	41.4	39.6	37.7	35.9	34.0	32.1	30.1	28.1	26.2	24.1	22.1	20.0		
7	60年	56.0	54.5	53.0	51.5	49.9	48.4	46.8	45.1	43.5	41.8	40.1	38.4	36.7	34.9	33.2	31.4	29.5	27.7	25.8
8	65年	61.0	59.7	58.3	57.0	55.6	54.2	52.8	51.3	49.9	48.4	46.9	45.4	43.9	42.3	40.7	39.1	37.5	35.8	34.2
9	70年	65.2	64.0	62.8	61.6	60.4	59.1	57.9	56.6	55.3	54.0	52.6	51.3	49.9	48.5	47.1	45.7	44.2	42.8	41.3
10	80年	71.9	70.9	70.0	69.0	68.0	67.0	66.0	64.9	63.9	62.8	61.7	60.6	59.5	58.4	57.3	56.1	54.9	53.7	52.5
11	90年	76.9	76.1	75.3	74.5	73.7	72.9	72.1	71.2	70.3	69.5	68.6	67.7	66.8	65.9	64.9	64.0	63.0	62.0	61.0

等級	標準耐用年数\経過年数	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76
7	60年	23.9	22.0	20.0																
8	65年	32.5	30.8	29.0	27.3	25.5	23.7	21.9	20.0											
9	70年	39.8	38.2	36.7	35.1	33.5	31.9	30.3	28.6	26.9	25.2	23.5	21.8	20.0						
10	80年	51.3	50.1	48.8	47.6	46.3	45.0	43.7	42.3	41.0	39.6	38.2	36.8	35.4	33.9	32.4	31.0	29.5	27.9	26.4
11	90年	60.0	59.0	58.0	57.0	55.9	54.8	53.8	52.7	51.5	50.4	49.3	48.1	46.9	45.8	44.6	43.3	42.1	40.8	39.6

等級	標準耐用年数\経過年数	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
10	80年	24.8	23.2	21.6	20.0										
11	90年	38.3	37.0	35.7	34.3	33.0	31.6	30.2	28.8	27.4	26.0	24.5	23.0	21.5	20.0

注) 本表は、価値補正を考慮していない再築補償率表 ( $\alpha=0$ ) である。  
 補修を施していると判断できる非木造建物については当表の再築補償率は使用できない。

経過年数に1年未満の端数がある場合には、それが6ヶ月未満の場合は切り捨てとし、6ヶ月以上の場合は1年とする。(例: 4月建築の場合は、9月30日までが切り捨て、10月1日からが1年)

(9) 木造建物現価率表

単位%

等級	建物の程度	標準耐用年数	経過年数														
			適用範囲														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
1	応急住宅程度	20年	20年	96.0	92.0	88.0	84.0	80.0	76.0	72.0	68.0	64.0	60.0	56.0	52.0	48.0	44.0
2	公営住宅程度	35年	35年	97.7	95.4	93.1	90.9	88.6	86.3	84.0	81.7	79.4	77.1	74.9	72.6	70.3	68.0
3	住宅金融支援機構住宅程度	48年	48年	98.3	96.7	95.0	93.3	91.7	90.0	88.3	86.7	85.0	83.3	81.7	80.0	78.3	76.7
4	上等の一般建築	60年	60年	98.7	97.3	96.0	94.7	93.3	92.0	90.7	89.3	88.0	86.7	85.3	84.0	82.7	81.3
5	極上等の建築	70年	70年	98.9	97.7	96.6	95.4	94.3	93.1	92.0	90.9	89.7	88.6	87.4	86.3	85.1	84.0

等級\経過年数	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
1	40.0	36.0	32.0	28.0	24.0	20.0														
2	65.7	63.4	61.1	58.9	56.6	54.3	52.0	49.7	47.4	45.1	42.9	40.6	38.3	36.0	33.7	31.4	29.1	26.9	24.6	
3	75.0	73.3	71.7	70.0	68.3	66.7	65.0	63.3	61.7	60.0	58.3	56.7	55.0	53.3	51.7	50.0	48.3	46.7	45.0	
4	80.0	78.7	77.3	76.0	74.7	73.3	72.0	70.7	69.3	68.0	66.7	65.3	64.0	62.7	61.3	60.0	58.7	57.3	56.0	
5	82.9	81.7	80.6	79.4	78.3	77.1	76.0	74.9	73.7	72.6	71.4	70.3	69.1	68.0	66.9	65.7	64.6	63.4	62.3	

等級\経過年数	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	
2	22.3	20.0																		
3	43.3	41.7	40.0	38.3	36.7	35.0	33.3	31.7	30.0	28.3	26.7	25.0	23.3	21.7	20.0					
4	54.7	53.3	52.0	50.7	49.3	48.0	46.7	45.3	44.0	42.7	41.3	40.0	38.7	37.3	36.0	34.7	33.3	32.0	30.7	
5	61.1	60.0	58.9	57.7	56.6	55.4	54.3	53.1	52.0	50.9	49.7	48.6	47.4	46.3	45.1	44.0	42.9	41.7	40.6	

等級\経過年数	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	
4	29.3	28.0	26.7	25.3	24.0	22.7	21.3	20.0												
5	39.4	38.3	37.1	36.0	34.9	33.7	32.6	31.4	30.3	29.1	28.0	26.9	25.7	24.6	23.4	22.3	21.1	20.0		

(10) 木造建物現価率表 (補正)

単位%

等級	建物の程度	標準耐用年数	経過年数														
			適用範囲														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
1	応急住宅程度	20年	24年	96.0	92.0	88.0	84.0	80.0	76.0	72.0	68.0	64.0	61.8	59.6	57.5	55.3	53.1
2	公営住宅程度	35年	42年	97.7	95.4	93.1	90.9	88.6	86.3	84.0	81.7	79.4	77.1	74.9	72.6	70.3	68.0
3	住宅金融支援機構住宅程度	48年	58年	98.3	96.7	95.0	93.3	91.7	90.0	88.3	86.7	85.0	83.3	81.7	80.0	78.3	76.7
4	上等の一般建築	60年	72年	98.7	97.3	96.0	94.7	93.3	92.0	90.7	89.3	88.0	86.7	85.3	84.0	82.7	81.3
5	極上等の建築	70年	84年	98.9	97.7	96.6	95.4	94.3	93.1	92.0	90.9	89.7	88.6	87.4	86.3	85.1	84.0

等級\経過年数	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1	50.9	48.7	46.5	44.4	42.2	40.0	37.8	35.6	33.5	31.4									
2	65.7	63.4	61.1	60.0	58.8	57.6	56.4	55.3	54.1	52.9	51.7	50.6	49.4	48.2	47.0	45.9	44.7	43.5	42.3
3	75.0	73.3	71.7	70.0	68.3	66.7	65.0	63.3	61.7	60.8	59.9	59.1	58.2	57.3	56.5	55.6	54.7	53.9	53.0
4	80.0	78.7	77.3	76.0	74.7	73.3	72.0	70.7	69.3	68.0	66.7	65.3	64.0	62.7	61.3	60.6	60.0	59.3	58.6
5	82.9	81.7	80.6	79.4	78.3	77.1	76.0	74.9	73.7	72.6	71.4	70.3	69.1	68.0	66.9	65.7	64.6	63.4	62.3

等級\経過年数	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
2	41.2	40.0	38.7	37.4	36.2	35.0	33.8	32.6	31.4										
3	52.1	51.3	50.4	49.5	48.7	47.8	46.9	46.1	45.2	44.3	43.5	42.6	41.7	40.9	40.0	38.9	38.0	37.2	36.4
4	57.9	57.2	56.5	55.8	55.1	54.5	53.8	53.1	52.4	51.7	51.0	50.3	49.6	48.9	48.3	47.6	46.9	46.2	45.5
5	61.1	60.6	60.0	59.4	58.8	58.2	57.6	57.0	56.4	55.9	55.3	54.7	54.1	53.5	52.9	52.3	51.7	51.2	50.6

等級\経過年数	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71
3	35.6	34.9	34.1	33.3	32.5	31.8													
4	44.8	44.1	43.4	42.8	42.1	41.4	40.7	40.0	39.3	38.5	37.8	37.1	36.4	35.6	34.9	34.2	33.5	32.8	32.1
5	50.0	49.4	48.8	48.2	47.6	47.0	46.5	45.9	45.3	44.7	44.1	43.5	42.9	42.3	41.8	41.2	40.6	40.0	39.4

等級\経過年数	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84
4	31.4												
5	38.7	38.1	37.5	36.9	36.3	35.6	35.0	34.4	33.8	33.2	32.6	32.0	31.4

注) 本表は、標準耐用年数の5割経過時点から標準耐用年数×1.2の年数までの価値率を補正した現価値率表(標準耐用年数満了時点の価値補正率20%)であり、標準的な補修が施されていると判断できる建物の現在価額の算定にあたって使用する。



(11) 非木造建物現価率表

単位%

等級	標準耐用年数\経過年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1	30年	97.3	94.7	92.0	89.3	86.7	84.0	81.3	78.7	76.0	73.3	70.7	68.0	65.3	62.7	60.0	57.3	54.7	52.0	49.3
2	35年	97.7	95.4	93.1	90.9	88.6	86.3	84.0	81.7	79.4	77.1	74.9	72.6	70.3	68.0	65.7	63.4	61.1	58.9	56.6
3	40年	98.0	96.0	94.0	92.0	90.0	88.0	86.0	84.0	82.0	80.0	78.0	76.0	74.0	72.0	70.0	68.0	66.0	64.0	62.0
4	45年	98.2	96.4	94.7	92.9	91.1	89.3	87.6	85.8	84.0	82.2	80.4	78.7	76.9	75.1	73.3	71.6	69.8	68.0	66.2
5	50年	98.4	96.8	95.2	93.6	92.0	90.4	88.8	87.2	85.6	84.0	82.4	80.8	79.2	77.6	76.0	74.4	72.8	71.2	69.6
6	55年	98.5	97.1	95.6	94.2	92.7	91.3	89.8	88.4	86.9	85.5	84.0	82.5	81.1	79.6	78.2	76.7	75.3	73.8	72.4
7	60年	98.7	97.3	96.0	94.7	93.3	92.0	90.7	89.3	88.0	86.7	85.3	84.0	82.7	81.3	80.0	78.7	77.3	76.0	74.7
8	65年	98.8	97.5	96.3	95.1	93.8	92.6	91.4	90.2	88.9	87.7	86.5	85.2	84.0	82.8	81.5	80.3	79.1	77.8	76.6
9	70年	98.9	97.7	96.6	95.4	94.3	93.1	92.0	90.9	89.7	88.6	87.4	86.3	85.1	84.0	82.9	81.7	80.6	79.4	78.3
10	80年	99.0	98.0	97.0	96.0	95.0	94.0	93.0	92.0	91.0	90.0	89.0	88.0	87.0	86.0	85.0	84.0	83.0	82.0	81.0
11	90年	99.1	98.2	97.3	96.4	95.6	94.7	93.8	92.9	92.0	91.1	90.2	89.3	88.4	87.6	86.7	85.8	84.9	84.0	83.1

等級	標準耐用年数\経過年数	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
1	30年	46.7	44.0	41.3	38.7	36.0	33.3	30.7	28.0	25.3	22.7	20.0								
2	35年	54.3	52.0	49.7	47.4	45.1	42.9	40.6	38.3	36.0	33.7	31.4	29.1	26.9	24.6	22.3	20.0			
3	40年	60.0	58.0	56.0	54.0	52.0	50.0	48.0	46.0	44.0	42.0	40.0	38.0	36.0	34.0	32.0	30.0	28.0	26.0	24.0
4	45年	64.4	62.7	60.9	59.1	57.3	55.6	53.8	52.0	50.2	48.4	46.7	44.9	43.1	41.3	39.6	37.8	36.0	34.2	32.4
5	50年	68.0	66.4	64.8	63.2	61.6	60.0	58.4	56.8	55.2	53.6	52.0	50.4	48.8	47.2	45.6	44.0	42.4	40.8	39.2
6	55年	70.9	69.5	68.0	66.5	65.1	63.6	62.2	60.7	59.3	57.8	56.4	54.9	53.5	52.0	50.5	49.1	47.6	46.2	44.7
7	60年	73.3	72.0	70.7	69.3	68.0	66.7	65.3	64.0	62.7	61.3	60.0	58.7	57.3	56.0	54.7	53.3	52.0	50.7	49.3
8	65年	75.4	74.2	72.9	71.7	70.5	69.2	68.0	66.8	65.5	64.3	63.1	61.8	60.6	59.4	58.2	56.9	55.7	54.5	53.2
9	70年	77.1	76.0	74.9	73.7	72.6	71.4	70.3	69.1	68.0	66.9	65.7	64.6	63.4	62.3	61.1	60.0	58.9	57.7	56.6
10	80年	80.0	79.0	78.0	77.0	76.0	75.0	74.0	73.0	72.0	71.0	70.0	69.0	68.0	67.0	66.0	65.0	64.0	63.0	62.0
11	90年	82.2	81.3	80.4	79.6	78.7	77.8	76.9	76.0	75.1	74.2	73.3	72.4	71.6	70.7	69.8	68.9	68.0	67.1	66.2

等級	標準耐用年数\経過年数	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57
3	40年	22.0	20.0																	
4	45年	30.7	28.9	27.1	25.3	23.6	21.8	20.0												
5	50年	37.6	36.0	34.4	32.8	31.2	29.6	28.0	26.4	24.8	23.2	21.6	20.0							
6	55年	43.3	41.8	40.4	38.9	37.5	36.0	34.5	33.1	31.6	30.2	28.7	27.3	25.8	24.4	22.9	21.5	20.0		
7	60年	48.0	46.7	45.3	44.0	42.7	41.3	40.0	38.7	37.3	36.0	34.7	33.3	32.0	30.7	29.3	28.0	26.7	25.3	24.0
8	65年	52.0	50.8	49.5	48.3	47.1	45.8	44.6	43.4	42.2	40.9	39.7	38.5	37.2	36.0	34.8	33.5	32.3	31.1	29.8
9	70年	55.4	54.3	53.1	52.0	50.9	49.7	48.6	47.4	46.3	45.1	44.0	42.9	41.7	40.6	39.4	38.3	37.1	36.0	34.9
10	80年	61.0	60.0	59.0	58.0	57.0	56.0	55.0	54.0	53.0	52.0	51.0	50.0	49.0	48.0	47.0	46.0	45.0	44.0	43.0
11	90年	65.3	64.4	63.6	62.7	61.8	60.9	60.0	59.1	58.2	57.3	56.4	55.6	54.7	53.8	52.9	52.0	51.1	50.2	49.3

等級	標準耐用年数\経過年数	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76
7	60年	22.7	21.3	20.0																
8	65年	28.6	27.4	26.2	24.9	23.7	22.5	21.2	20.0											
9	70年	33.7	32.6	31.4	30.3	29.1	28.0	26.9	25.7	24.6	23.4	22.3	21.1	20.0						
10	80年	42.0	41.0	40.0	39.0	38.0	37.0	36.0	35.0	34.0	33.0	32.0	31.0	30.0	29.0	28.0	27.0	26.0	25.0	24.0
11	90年	48.4	47.6	46.7	45.8	44.9	44.0	43.1	42.2	41.3	40.4	39.6	38.7	37.8	36.9	36.0	35.1	34.2	33.3	32.4

等級	標準耐用年数\経過年数	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
10	80年	23.0	22.0	21.0	20.0										
11	90年	31.6	30.7	29.8	28.9	28.0	27.1	26.2	25.3	24.4	23.6	22.7	21.8	20.9	20.0

## (12) 運用益損失額補償率表

$$1 - \frac{1}{(1+r)^n}$$

年利率  $r = 0.8\%$

残耐用年数 n	運用益損失額補償率	残耐用年数 n	運用益損失額補償率
1	0.8%	46	30.7%
2	1.6%	47	31.2%
3	2.4%	48	31.8%
4	3.1%	49	32.3%
5	3.9%	50	32.9%
6	4.7%	51	33.4%
7	5.4%	52	33.9%
8	6.2%	53	34.4%
9	6.9%	54	35.0%
10	7.7%	55	35.5%
11	8.4%	56	36.0%
12	9.1%	57	36.5%
13	9.8%	58	37.0%
14	10.6%	59	37.5%
15	11.3%	60	38.0%
16	12.0%	61	38.5%
17	12.7%	62	39.0%
18	13.4%	63	39.5%
19	14.0%	64	39.9%
20	14.7%	65	40.4%
21	15.4%	66	40.9%
22	16.1%	67	41.4%
23	16.7%	68	41.8%
24	17.4%	69	42.3%
25	18.1%	70	42.8%
26	18.7%	71	43.2%
27	19.4%	72	43.7%
28	20.0%	73	44.1%
29	20.6%	74	44.5%
30	21.3%	75	45.0%
31	21.9%	76	45.4%
32	22.5%	77	45.9%
33	23.1%	78	46.3%
34	23.7%	79	46.7%
35	24.3%	80	47.1%
36	24.9%	81	47.6%
37	25.5%	82	48.0%
38	26.1%	83	48.4%
39	26.7%	84	48.8%
40	27.3%	85	49.2%
41	27.9%	86	49.6%
42	28.4%	87	50.0%
43	29.0%	88	50.4%
44	29.6%	89	50.8%
45	30.1%	90	51.2%

### (13) 価値補正率基準表

#### ① 木造建物補正率表

番号	補正項目	補正率	備考
1	柱が15cm角以上の建物	5%	
2	屋根に補修が施されている建物	3%	葺替え
3	内壁に補修が施されている建物	3%	張替え
4	外壁に補修が施されている建物	4%	張替え
5	柱に補修が施されている建物	5%	取替え
6	土台に補修が施されている建物	5%	取替え
7	その他の補正項目		
	(1) 軒先のたる木、野地板を保護するための鼻かくし、破風板による補修が施されている建物	3%	
	(2) 土台に防腐、白蟻消毒が施されている建物	2%	
	(3) 出入口、雨戸、窓等の木造建具がアルミサッシ等の金属建具に取替えられている建物	4%	
	(4) 建築基準法に定められている床高以上の床高によって湿気等の対策が施されている建物	1%	
	(5) 浴室の浴槽、壁及び床タイル等の補修が施されている建物	3%	
	(6) 建物の立地条件から判断して採光による環境条件が優れている建物	4%	
	(7) 建物の立地条件から判断して通風による環境条件が優れている建物	3%	

② 補正率の運用基準

番号	補正項目	補正率	運用基準
1	柱が15cm角以上の建物	5%	1/10以上使用されている場合が最大値5%となる
2	屋根に補修が施されている建物	3%	全面葺替えが最大値3%となる
3	内壁に補修が施されている建物	3%	全面張替えが最大値3%となる
4	外壁に補修が施されている建物	4%	全面張替えが最大値4%となる
5	柱に補修が施されている建物	5%	1/3以上の取替えが最大値5%となる
6	土台に補修が施されている建物	5%	1/3以上の取替えが最大値5%となる
7	その他補正項目		
	(1) 軒先のたる木、野地板を保護するための鼻かくし、破風板による補修が施されている建物	3%	鼻かくしと破風板の両方とも補修が行われている場合が最大値3%となる ○鼻かくし又は破風板のいずれかの補修が行われている場合 1.5% ○軒先の一方だけの補修が行われている場合 0.7%
	(2) 土台に防腐、白蟻消毒が施されている建物	2%	2回目以降の防腐、白蟻消毒が全面的に施されている場合が最大値2%となる
	(3) 出入口、雨戸、窓等の木造建具がアルミサッシ等の金属建具に取替えられている建物	4%	全部取替えが最大値4%となる ○玄関のみの取替えの場合 1% ○雨戸のみの取替えの場合 1% ○窓のみの取替えの場合 2%
	(4) 建築基準法に定められている床高以上の床高によって湿気等の対策が施されている建物	1%	床高が45cmを越える場合が最大値1%となる
	(5) 浴室の浴槽、壁及び床タイル等の補修が施されている建物	3%	浴槽の取替えが行われている場合が最大値3%となる ○床タイルのみの補修の場合 0.5% ○壁のみの補修の場合 1.0% (注) 浴槽の取替えには、床タイル及び壁の補修は必ず必要とされる
	(6) 建物の立地条件から判断して採光による環境条件が優れている建物	4%	東南方向に、建物、その他の障害物が比較的少ない場合が最大値4%となる
	(7) 建物の立地条件から判断して通風による環境条件が優れている建物	3%	当該敷地面積から建物の建築面積を控除した面積が当該敷地面積の60%以上である場合が最大値3%となる

③ 木造建物補正率の運用基準内訳書

1	柱が15cm角以上の建物 柱が15cm角以上の柱本数比（15cm角以上の柱本数／柱総本数）					
	柱本数の比率	2%未満	2%以上5%未満	5%以上7%未満	7%以上10%未満	10%以上
	補正率	1%	2%	3%	4%	5%
2	屋根に補修が施されている建物 葺替えが施されている屋根面積比（葺替え面積／屋根面積）					
	葺替え面積比率	50%未満		50%以上		全面葺替え
	補正率	1%		2%		3%
3	内壁に補修が施されている建物 張替えが施されている内壁構成比率（張替え面積／内壁面積）					
	内壁構成比率	50%未満張替え		50%以上張替え		全面張替え
	補正率	1%		2%		3%
4	外壁に補修が施されている建物 張替えが施されている外壁構成比率（張替え面積／外壁面積）					
	外壁構成比率	33%未満		33%以上67%未満		67%以上
	補正率	1%		2%		3%
5	柱に補修が施されている建物 取替えが施されている柱本数（取替え本数／柱本数）					
	柱取替え比率	8%未満	8%以上16%未満	16%以上24%未満	24%以上33%未満	33%以上
	補正率	1%	2%	3%	4%	5%
6	土台に補修が施されている建物 取替えが施されている床面積比（取替え床面積／床面積）					
	取替え比率	8%未満	8%以上16%未満	16%以上24%未満	24%以上33%未満	33%以上
	補正率	1%	2%	3%	4%	5%
7	その他の補正項目					
	(1) 軒先のたる木、野地板を保護するための鼻かくし、破風板による補修が施されている建物					
		軒先の一方だけの補修	鼻かくし又は破風板のいずれかの補修		鼻かくしと破風板の両方とも補修	
	補正率	0.7%	1.5%		3%	
	(2) 土台に防腐、白蟻消毒が施されている建物					
		当初のみ施工		2回以上施工		
				部分的に施工	全面的に施工	
	補正率	1%		1.5%		2%
	(3) 出入口、雨戸、窓等の木製建具がアルミサッシ等の金属建具に取替えられている建物					
		玄関のみの取替え 雨戸のみの取替え	玄関と雨戸又は窓のみの取替え		玄関又は雨戸と窓の取替え	全部取替え
	補正率	1%		2%		3%
	(4) 建築基準法に定められている床高以上の床高によって湿気等の対策が施されている建物					
		床高が45cm以上の場合				
	補正率	1%				
	(5) 浴室の浴槽、壁及び床タイル等の補修が施されている建物					
	床タイルのみの補修		壁のみの補修	床タイルと壁の補修	浴槽の取替え	
補正率	0.5%		1%	1.5%	3%	
(6) 建物の立地条件から判断して採光による環境条件が優れている建物						
	南西方向に建物その他 障害物が比較的少ない	東方向に建物その他 障害物が比較的少ない	南方向に建物その他 障害物が比較的少ない	東南方向に建物その他 障害物が比較的少ない		
補正率	1%	2%	3%	4%		
(7) 建物の立地条件から判断して通風による環境条件が優れている建物						
	敷地面積から建物の建築面積 を控除した面積が敷地面積の 40%以上50%未満		敷地面積から建物の建築面積 を控除した面積が敷地面積の 50%以上60%未満		敷地面積から建物の建築面積 を控除した面積が敷地面積の 60%以上	
補正率	1%		2%		3%	

## (14) 基礎コンクリート体積表

単位 m<sup>3</sup>/m

	CF01 有筋D10	CF02 有筋D10	CF03 有筋D10	CF04 有筋D10	CF05 無筋	CF06 無筋
有筋	0.18	0.14	0.11	0.09		
無筋	0.03	0.03	0.03	0.03	0.14	0.06

	CF11 有筋D10・13	CF12 有筋D10・13	CF13 有筋D10・13	CF14 有筋D10・13	CF15 有筋D10・13	CF16 有筋D10・13
有筋	0.17	0.19	0.22	0.24	0.27	0.29
無筋	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03

	CF21 有筋D10	CF22 有筋D10	CF23 有筋D10	CF24 有筋D10	CF25 有筋D10	CF26 有筋D10
有筋	0.20	0.23	0.26	0.31	0.34	0.37
無筋	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04

	布基礎立上り加算 B1=120	布基礎立上り加算 B2=150				
有筋	0.12	0.15				

(15) 建物移転工法別標準期間表

工 法	標 準 工 期					対象面積
	70㎡を超え 125㎡以内	125㎡を超え 175㎡以内	175㎡を超え 220㎡以内	220㎡を超え 250㎡以内	250㎡を超え 280㎡以内	
構内再築 工 法	4月	4. 5月	5月	5. 5月	6月	建物延べ 面積
曳家工法	2月	2. 5月	3月	3月	3月	
曳家工法 (基礎重複)	2. 5月	3月	3月	3月	3月	

注① 構内再築工法及び曳家工法の標準移転工期は、細則別表第4建物移転工法別補償期間表を標準とし、規模によつての適宜補正の場合に本表により認定するものとする。

② 上記の標準工期月数は、一般住宅及び店舗併用住宅の木造在来工法を標準としたものである。

③ 上記の標準工期月数は、着工から竣工までの期間であり、前後の準備期間（解体工事期間）を必要により加算できるものとする。

④ 本表に掲げる規模以外及び特別な施工工法によるものは、専門家の意見により別途定めるものとする。

⑤ 本表は、家賃減収期間及び営業休止期間の算出にも適用する。





# 諸 率 表

## < 工 作 物 関 係 >

- (1) 附帶工作物諸経费率表
- (2) 附帶工作物標準耐用年数表
- (3) 附帶工作物再築補償率表
- (4) 附帶工作物現価率表



(1) 附帯工作物諸経费率表

A		B	
純工事費 (百万円)	諸経费率 (%)	注1に該当する 純工事費 (円)	注1による額 (円)
10 以下	34.5	—	—
10 を超え	12 "	10,454,545 以下	3,450,000
12 "	14 "	12,452,830 以下	3,960,000
14 "	16 "	14,454,545 以下	4,452,000
16 "	18 "	16,481,605 以下	4,928,000
18 "	20 "	18,431,506 以下	5,382,000
20 "	22 "	20,491,228 以下	5,840,000
22 "	24 "	22,473,118 以下	6,270,000
24 "	26 "	24,437,956 以下	6,696,000
26 "	28 "	26,483,271 以下	7,124,000
28 "	30 "	28,530,303 以下	7,532,000
30 "	35 "	31,058,823 以下	7,920,000
35 "	40 "	36,133,603 以下	8,925,000
40 "	45 "	41,166,666 以下	9,880,000
45 "	50 "	46,153,846 以下	10,800,000
50 "	55 "	51,315,789 以下	11,700,000
55 "	60 "	55,982,142 以下	12,540,000
60 "	70 "	62,511,627 以下	13,440,000
70 "	80 "	72,009,569 以下	15,050,000
80 "	90 "	82,364,532 以下	16,720,000
90 "	100 "	92,272,727 以下	18,270,000
100 "	120 "	104,761,904 以下	19,800,000
120 "	140 "	124,615,384 以下	22,680,000
140 "	160 "	144,772,727 以下	25,480,000
160 "	180 "	164,678,362 以下	28,160,000
180 "	200 "	184,311,377 以下	30,780,000
200 "	250 "	211,392,405 以下	33,400,000
250 "	300 "	261,589,403 以下	39,500,000
300 "	350 "	310,273,972 以下	45,300,000
350 "	400 "	362,411,347 以下	51,100,000
400 "	500 "	420,895,522 以下	56,400,000
500 を超えるもの	12.8	523,437,499 以下	67,000,000

- 注) 1. 本表の諸経费率によって算出された額が、それぞれの欄の前欄において算出される額の最高額に達しないときは、その最高額まで増額することができる。
2. 本表の諸経费率を適用する純工事費は、一発注（建築＋解体）を単位として算定された額とする。  
 なお、本表の諸経费率表の適用に当たっては、原則として建物と附帯工作物については別発注として算定するものとする。

(2) 附帯工作物標準耐用年数表

区 分		判断基準	標準耐用年数
1	木製類	主たる構造が木製のもの	31
2	コンクリートブロック類	コンクリート2次製品を主要資材として施工されたもの 主たる構造がコンクリート造のもの	36
3	鉄筋コンクリート類	主たる構造が鉄筋コンクリート造のもの	46
4	石材類	石材を主要資材として施工されたもの 構造が石材のもの	38
5	れんが類	れんがを主要資材として施工されたもの	40
6	鋼製類・アルミ類	主たる構造が金属製（鋼製、鋳鉄製、アルミ製 など）のもの	30
7	電気設備等	電気、給排水、衛生、ガス設備関係	32
8	舗装	アスファルト、コンクリート等土間叩きのもの	34
9	井戸	打込井戸	29
		掘井戸	72



